

## 広報・教育部門

応募事例名

### ぬいぐるみの下水道処理場見学会

～あなたに代わってぬいぐるみが見学します！～

応募団体名)公益財団法人 愛知水と緑の公社

## 応募事例の概要

### 【ぬいぐるみの下水道処理場見学会】

普段見学に来ることができない方へ向けて企画しました。ぬいぐるみをお預かりし、持ち主に代わってぬいぐるみが処理場見学を行い、その様子をコメント付きのアルバムとしてお渡しする内容です。全ページに自分のぬいぐるみが登場するため、親近感を持って読み進めると下水道について理解できる内容となっています。平成28年8月に実施し、当初16名の募集でしたが、応募者多数により30名まで受け付け、実施しました。



図-1)アルバム表紙(左)と中身(右)

### 【下水道の日特別展示】

ぬいぐるみの下水道処理場見学会の内容のポスター展示を平成28年9月10日～25日に、メタウォーター下水道科学館あいち、稲沢市児童センター10ヶ所及び市民交流施設、一宮市児童館7ヶ所の計19か所で行いました。アンケート回答者数1,493名。中日新聞で紹介され、多くの方に見てもらうことができました。児童館用ポスターはB0サイズで作成し、他のイベントでも活用可能となっています。



図-2)メタウォーター下水道科学館あいち(左)と児童館(右)の展示

### 【ネットを活用し、スライドショー配信】

見学会のスライドショーをYouTubeで配信することで、今後も啓発に活用できます。

<https://www.youtube.com/watch?v=E1aTVc8zUFU>

\*UFO、ヘルメットは手作り、撮影、印刷、ポスター等の展示物の作成は全て職員で行いました。

## PRポイント

- ・ぬいぐるみを活用することで、自分が見学しているかのように読むことができ、興味を持って下水道のしくみについて理解してもらうことができます。下水道を身近に感じてもらうことができました。
- ・ぬいぐるみの持ち主や展示を見た人が自身も浄化センターを見学したい、もっと詳しく知りたいといった興味や関心を得ることができました。また、珍しい・面白い・可愛いことから他の人にも教えてあげたいといった感想が多く、クチコミ効果も感じました。
- ・児童館といった他分野へ進出することで、子どもだけでなく、児童館の先生やお迎えの親といった、これまで下水道を知らなかった住民等へ広報することができました。